

わたしの地元、こんなところですよ！

ご当地特集

「らいふすてーじ編集部をもっと知ってほしい！」

そんな思いで編集部員、中でも今年入った1回生を中心に各々の出身地の「ご当地もの」を特集しました！

全国各地から集まった編集部員がらいふすてーじを作っている、ということを感じつつそれぞれの土地の魅力に触れてみてください！

04. 京都府

05. 兵庫県

07. 岡山県

08. 香川県

09. 徳島県

10. 神奈川県

11. 長野県





もくじ



ページ	都道府県名	タイトル
04.	京都府	「京都ミニシアター巡り」
05.	兵庫県	「神戸・北野めぐり」
06.	兵庫県	「阪神ファンが見た 阪神甲子園球場」
07.	岡山県	「後樂園の移ろい」
08.	香川県	「小豆島の おいしいもの4選」
09.	徳島県	「徳島県の魅力」
10.	神奈川県	「横須賀を歩こう」
11.	長野県	「信州の果物を食べる！」



京都ミニシアター巡り

ミニシアター：大手映画会社の直接の影響下がない、独立した日本の映画館。

ミニシアターは上記のように定義される映画館ですが、皆さんは行ったことがあるでしょうか。動画見放題の配信サービスが隆盛を極める昨今、映画館で映画を見ること自体が減っているという方も多いのではないかと思います。そんな今だからこそ、ミニシアターの世界に足を踏み入れてみませんか。（鱒）

アップリンク京都

京都府京都市中京区烏丸通
姉小路下ル場之町 586-2
新風館地下1階



「アップリンク渋谷」「アップリンク吉祥寺」に次ぐ、地下鉄烏丸御池駅直結のミニシアター。歴史ある商業施設・新風館の地下1階に位置しており、エスカレーターを降りて角を曲がると色鮮やかな内装が見えてくる。洋画に出てきそうな館内のポップな色合いは、映画を見る前から観客を非日常に誘ってくれるだろう。漢方由来の「伊良コーラ」やこだわりのホットドッグなど、フードメニューも豊富に取り揃えている。ぜひご賞味あれ。

出典元：公式 Twitter アップリンク京都 @uplink_kyoto

出町柳駅から徒歩5分、出町榎形商店街にあるミニシアター。1階が書店とカフェ「出町座のソコ」、2階が映画館になっており、「出町座のソコ」で購入した飲み物は館内に持ち込むことができる（フード類の持ち込みは不可）。他に紹介する2つのミニシアターと比較しても座席数は少なく、観客は狭い空間で思う存分映画の世界に浸ることができる。他の映画館ではすでに上映が終了している映画を上映することがあるため、もう映画館では見られないと諦めたあの作品をここで見ることもできるかもしれない。

出典元：公式 Twitter 出町座のソコ @demachizanosoko

出町座

京都府京都市上京区今出川通
出町西入上ル三芳町 133



京都シネマ

京都府京都市下京区烏丸通四条
下ル水銀屋町 620
COCON KARASUMA 3階



地下鉄四条駅から徒歩2分、商業施設 COCON KARASUMA（古今烏丸）の3階に位置するミニシアター。スクリーンは3つあり、それぞれ赤・青・緑の座席が設置されている。落ち着いた色の座席は薄暗い館内によくなじみ、ゆったりと映画を楽しむことができるだろう。また、上映作品は外国映画からドキュメンタリーまで取り揃えており、その独自のラインナップがこの映画館の魅力である。普段自分では選ばないような映画を見ることで、世界を広げてみるのはいかがだろうか。

出典元：<https://coconkarasuma.com/shoplist/kyotocinema/>

神戸・北野めぐり

今回わたしが紹介するのは、兵庫県神戸市の人気観光地・北野町です。異国情緒溢れるレトロな街で、神戸の中心地から気軽に足を伸ばせます。今回は北野の主な観光スポットと、北野で開催されているイベントを取り上げます。神戸にいらっしゃった際には是非北野を訪ねてみてください。(モアイ)

異人館街



北野といえばやはり異人館街。高台にお洒落で歴史ある洋風邸宅が並んでおり、まるで外国の街を歩いているような気分になれます。そのうちのひとつの風見鶏の館はレンガ造りの洋館で、塔の上の風見鶏は異人館街のシンボリック的存在となっています。風見鶏の館の前方には広場があり、高台からの景色を眺めたり、楽器を演奏している人の像と一緒に写真を撮ったりすることができます。内部を見学できる邸宅も多く、レトロなインテリアを楽しめます。それぞれ個性のある異人館をめぐって、お気に入りを見つけてみては。

神戸布引ハーブ園



ぬのびき
神戸布引ハーブ園は、様々なハーブや花を楽しめる日本最大級のハーブ園です。見どころは美しい景色で、神戸の街並みや山々、海を見渡せます。山頂までを繋ぐロープウェイからは360度の景色を眺めることができ、布引の滝などの名所も見ることができます。景色を眺めながらゆったり散歩したり、写真を撮ったりと、それぞれの楽しみ方ができるスポットです。ハロウィンフェアやクリスマスイルミネーションなど、時期ごとにフェアやイベントも開催されます。日常から離れてのびのびと穏やかに過ごしてみませんか。

インフィオラータこうべ



出典元 <https://infiorata-kobe.net/>

インフィオラータこうべは、毎年春に開催される、道路や広場を花絵で彩り鑑賞するイベントです。インフィオラータとはイタリア語で「花を敷きつめる」という意味。神戸では阪神・淡路大震災をきっかけとして1997年に始まりました。2020年以降コロナ禍により中止が続きましたが、今年は3年ぶりの開催となりました。いくつかある会場のうちのひとつが北野坂で、坂全体に芝生が敷かれ巨大な花絵が現れるさまはとて華やか。春らしいイベントで、神戸の春の風物詩となっています。

神戸ジャズストリート



出典元 <https://www.kobejazzstreet.gr.jp/gallery/>

神戸ジャズストリートは、三宮・北野町・トアロード界隈で例年秋に開催されるイベントです。参加者は複数ある会場を自由にめぐることができ、北野坂ではパレードも行われます。1982年から始まった歴史あるイベントで、こちらもここ数年は資金難やコロナ禍などにより中止を余儀なくされていましたが、今年ついに復活。レジェンドから若手まで幅広いミュージシャンが演奏を披露しました。教会やライブハウスなどが会場となっており、北野を訪れたことのある方でも、知らないスポットに出会えるかもしれません。

阪神ファンが見た阪神甲子園球場

阪神甲子園球場（以下「甲子園球場」）は兵庫県西宮市にある野球場です。甲子園球場は阪神タイガースのホームグラウンドであり、高校野球の全国大会が行われる場所でもあります！ そのため「甲子園」という名前は誰もが一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。そんな甲子園球場を今回は阪神ファン目線で紹介していきます。（せんちゃ）

ライト外野席



甲子園球場は外野が天然芝であることが売りの1つで、ここからはその天然芝がきれいに見えます。ライト外野席は阪神タイガースの応援団の定位置であるため、応援の音楽がとてもよく聞こえて応援歌に乗りやすいです！ファンは熱血な方が多く、阪神ファン同士で盛り上がりたいたいという方にとっては最高の席となっています。

一塁側内野席



内野席の魅力は椅子です。外野席にはない背もたれやテーブル、カップホルダーがついています。また、落ち着いた雰囲気もポイントです。内野席は比較的静かなお客さんが集まる傾向があり、のんびりと観戦したい方にお勧めです。さらに、選手を間近で見られることもグッド。選手の細かい仕草までよく見えて臨場感が高まります。

甲子園歴史館



甲子園歴史館は甲子園球場の中にあり、阪神タイガースと高校野球の歴史をメインに展示を行っています。写真に写っているのは昔実際に使われていた手書きのスコアボードです。プロ野球ファンならすぐわかる往年の名選手たちの名前が並んでいて、今秋から新たに阪神タイガースの監督に就任した岡田監督の選手時代のボードもあります。この歴史館はバックスクリーンの真下につながっていて、そこから電光掲示板を眺めることができます。間近で見る大きな電光掲示板は圧巻です！

後楽園の王 王 移ろい



岡山県といえば、三名園の一つである後楽園。後楽園は江戸時代に岡山藩主の池田綱政が家臣の津田永忠に命じて作らせた大名庭園です。歴史的建造物と植物のコントラストが見事で、とても見ごたえがあります。今回は、そんな後楽園に植えられている植物の中で、別々の時期に見頃となるものを紹介していきます。(都月)

ソメイヨシノ



春を象徴するソメイヨシノは、3月下旬から4月上旬が見頃です。春の代表色ともいえる薄いピンク色の花びらが特徴的で、桜目当てで、春に後楽園を訪れる人も多いでしょう。後楽園には岡山城と桜を一つの写真に写すことのできる場所があったり、園全体に植えられている約280本の桜の中には、岡山県の桜開花時期の基準となる標本木があったりするので、息抜きに探してみるのも良いでしょう。

ハナショウブ

6月上旬にはハナショウブが満開の時期になります。ハナショウブは品種が非常に多く、色彩豊かなことで有名で、後楽園には主に、白色・赤紫色・青色のハナショウブが咲いています。また、すぐ近くには岡山藩主が休憩する際に用いたとされる「流店^{りゅうてん}」という現存する建物があり、当時の大名家の優雅な暮らしをありありと想像できます。



サルスベリ



7月中旬から9月下旬にかけてはサルスベリが見頃となります。花びらはピンク色や白色をしていて、「百日紅^{サルスベリ}」という名前の通り、夏から秋にかけて長く咲き続けます。また、サルスベリの幹はその皮が一部剥がれ落ちることによって、まるで油絵のような美しい幹となるため、満開の時期となる夏でなくても鑑賞して楽しむことができるのが魅力の一つです。

紅葉

11月中旬から12月上旬の間は、カエデやイチョウなどの広葉樹が赤色や黄色へと鮮やかに色づきます。後楽園にある、前述したソメイヨシノやサルスベリなどの木も秋には紅葉するため、園全体で秋を感じることができます。また、後楽園周辺の紅葉した山々を一緒に眺めることもできます。秋に後楽園を訪れた際には、園内の紅葉だけでなく背後の山々も是非眺めてみて下さい。



小豆島の

美味しいもの4選

しょうどしま
「小豆島」という島を知っていますか？ 小豆島は香川県にあり、瀬戸内海の中では淡路島について二番目に大きな島です。ここでは、美味しい名産品を数多く味わうことができます！ 今回は、小豆島のグルメを四つ紹介していきます。 (タルトタタン)

①小豆島そうめん



日本三大そうめんの一つ。人の手でそうめんを伸ばしていく製法で作られる手延べそうめんであり、同じく小豆島の名産品であるごま油を用いることでほかの地域とは違う風味が味わえます。

②ごま油



小豆島でごま油を作っている「かどや製油」は、ごま油の国内シェア 50% 以上を担っています。工場近くで資料室の見学もできるので、小豆島を訪れた際には是非行ってみてください (現在は閉室中)。

③オリーブ



小豆島はオリーブの原産地である地中海と気候が似ていることから、日本で初めてオリーブの栽培に成功しました。オリーブの特徴的な香りを楽しめる^{りよっか}緑果しぼりのオリーブオイルがおすすめ。

④醤油



小豆島の醤油は現在でも木桶を用いて、伝統の製法で作られています。明治時代に建てられた醤油蔵の町並みは美しく、有形文化財に指定されたものも。歴史を感じながら醤油を味わってください。

いかがでしたか？ 関西から小豆島へ行くには、神戸から直通のフェリーを使うと便利です！ 是非一度小豆島を訪れて、名産品を味わってくださいね。

徳島県の魅力

四国の南東に位置する徳島県。京都から遠いので行ったことがない方も多いのではないのでしょうか。今回は徳島県の4つの魅力を紹介したいと思います。 (塩鮭)



大鳴門橋

兵庫県淡路島と徳島県を結ぶ橋。橋の下では世界一の大きさの渦潮が見られ、「鳴門の渦潮」として親しまれています。橋桁下部には遊歩道「渦の道」があり、真上から渦潮を観察することもできます。夜になるとカラフルなライトアップがなされて綺麗です。



徳島ラーメン

大きく分けて小松島発祥の白、徳島発祥の茶、鳴門発祥の黄の3系統のスープがあり、麺はストレートで長さが短め、具はチャーシューではなく豚バラ肉をタレで煮たものを使うといった特徴があります。多くの店で用意されている生卵をトッピングし食べるとよりおいしいです。



すだち

さわやかな酸味が特徴の小さな柑橘類で、サンマなどの焼き魚にかけて食べます。実は徳島県はすだちの全国生産量の98%を占めているほどの名産地で、徳島県のマスコット、すだちくんのモチーフにもなっています。



阿波踊り

徳島県が発祥の盆踊り。約400年の歴史を持つ踊りで、毎年お盆の8月12日から15日までの4日間は徳島市で大規模な踊りが開催され、多くの観光客が訪れます。県内の小・中・高校での授業内に教えられることもあり県民のほとんどが踊れるのだとか。

観光地として有名なわけではありませんが、このように徳島県は魅力ある県です。是非一度訪れてその魅力を感じてみてはいかがでしょうか。



横須賀を歩こう



by けいた

私が紹介するのは、神奈川県南東の三浦半島に位置する横須賀市です。横須賀市は長崎県佐世保市とともに米海軍基地がある街として有名ですが、観光で訪れる人は少ないかもしれません。そんな横須賀ですが、米海軍基地を目玉にした観光地やご当地グルメが多数あるので紹介していきたいと思います！



YOKOSUKA 軍港めぐり

横須賀駅を降りると目の前はすぐ海で、艦船が泊まっているのが見えるでしょう。ここが米海軍基地です。また、近くには海上自衛隊の司令部が置かれています。観光船でこれらの軍港をめぐり、停泊している米海軍・自衛隊の艦船を間近で見ることができるツアーが「YOKOSUKA 軍港めぐり」です。艦船好きに限らず、迫力ある艦船に興奮すること間違いなし！

どぶ板通り

横須賀駅から海沿いに歩いていくと、一風変わった店が並ぶ通りが見えます。それがどぶ板通りです。戦後、米軍向けに飲食店や土産屋が集まってできた通りで、日本とアメリカの文化が融合した独特な雰囲気を感じられます。また、スカジャン発祥の地としても有名です。アメリカ色の強い飲食店や、スカジャン専門店、ミリタリーショップなどが軒を連ねます。



ネイビーバーガー

横須賀の米海軍・海上自衛隊由来のご当地グルメのうち海軍カレーは有名ですが、ネイビーバーガーはあまり知られていないのではないのでしょうか？ネイビーバーガーとは、米海軍から伝わったレシピがもとになったハンバーガーです。肉厚で大きいことが特徴で、中には想像を超えるほど大きなサイズのものもあります。食べごたえ抜群のネイビーバーガーをぜひご賞味ください！



信州の 果物を食べる!

日照時間が長く昼夜の寒暖差が大きい長野県は果物王国! 南北に長い長野県ではたくさんの品種が栽培され、品種改良も積極的に行われています。今回は長野県生まれの品種にスポットライトを当てていきます。(しばふ)

りんご



シナノゴールド

その名の通り黄金色をした、長野県発の品種。甘さと酸味のバランスがよく、香りの強いりんごです。さわやかかつ濃厚な味わいが人気で、県全土で広く栽培されています。私の一番好きなりんごです。

旬：10月中旬～12月下旬



あいかの香り

長野県生まれの新しい品種。開発者の娘さんの名前が由来でこの名が付いたそうです。酸味が柔らかく、上品な甘さが特徴です。栽培が難しく生産量が少ないため、私も数えるほどしか食べたことがありません。

旬：10月下旬～11月下旬

ぶどう



ナガノパープル

巨峰を親に持ち、巨峰に似たさわやかな甘さと華やかな香りが楽しめます。大粒で皮ごと食べることができ、皮にはポリフェノールがたっぷり含まれています。

旬：9月上旬～10月中旬



クイーンルージュ

とにかく甘い! マスカットの香りと糖度20を超える強い甘さが特徴。皮が非常に薄く、種もないので食べやすいです。現在長野県内でしか栽培されていない品種です。

旬：9月中旬～10月上旬

あんず

信州サワー



果汁が多くほどよい甘みがあるため、生食でもよし、ジャムやシロップ漬けなどに加工してもよし、と様々な食べ方で楽しめる品種です。

旬：6月下旬～7月上旬

りんごなら青森、ぶどうなら山梨のように、圧倒的な生産量を誇る県の陰に隠れてはいるものの、長野県でも魅力的な果物をたくさん作っています。学生にとって果物は手が届きにくい存在かと思いますが、機会があればぜひ味わってみてください!